

TANIGUCHI-MAIL

～経営者とは～

「一勝九敗」柳井 正 著

昨年11月に発売されたユニクロの柳井氏が書かれた本のあとがきの一部を掲載させていただきました。
ご参考にしていただければ幸いです。

何度も言うが、当社は今まで、失敗を繰り返しながら成長してきた。考えて実行して、失敗したら引き返し、また挑戦する。失敗を失敗と認めるのは、自分の行動結果を客観的に分析・評価することができないと難しい。失敗を失敗と認めずにいると、だから続けて傷口が広がってしまう。無駄なことだ。

世間一般には、ぼくは成功者と見られているようだが、自分では違うと思っている。本書でも触れたように、実は「一勝九敗」の人生なのだ。勝率でいうと一割しかない。プロ野球のピッチャーではすぐに首になるか二軍落ちは確実だ。もし、それでも成功と呼べるのなら、失敗を恐れず挑戦してきたから今の自分があるのだろう。野球でも盗塁の成功率が高いチームは、盗塁をねらって走る回数が非常に多い。刺されることを考えていては走れない。走れば走るほど盗塁成功率が上がってくる。経営にも同じことが言えよう。

今後とも、「店は客のためにあり、店員とともに栄える」という、当たり前でぼくが一番好きな言葉を実践するために、経営チームおよび社員全員で一緒になって挑戦しつづけたいと考えている。

結びに替えて、読者の皆さんに「起業家十戒」と「経営者十戒」を進呈しよう。そのまま参考にしていただくのもよし、巻末の経営理念とあわせ、ご自分なりの経営理念を作って実践されるのもよいのではないかと思う。

起業家十戒

1. ハードワーク、一日二十四時間仕事に集中する。
2. 唯一絶対の評価者は、市場と顧客である。
3. 長期ビジョン、計画、夢、理想を失わない。
4. 現実を知る。その上で理想と目標を失わない。
5. 自分の未来は、自分で切り開く。他人ではなく、自分で自分の運命をコントロールする。
6. 時代や社会の変化に積極的に対応する。
7. 日常業務を最重視する。
8. 自分の商売に、誰よりも高い目標と基準を持つ。
9. 社員とのパートナーシップとチームワーク精神を持つ。
10. つぶれない会社にする。一勝九敗でよいが、再起不能の失敗をしない。

キャッシュが尽きればすべてが終わり。

経営者十戒

1. 経営者は、何が何でも結果を出せ。
2. 経営者は明確な方針を示し、首尾一貫せよ。
3. 経営者は高い理想を持ち、現実を直視せよ。
4. 経営者は常識に囚われず、柔軟に対処せよ。
5. 経営者は誰よりも熱心に、自分の仕事をせよ。
6. 経営者は鬼にも仏にもなり、部下を徹底的に鍛え勇気づけよ。
7. 経営者はハエタキにならず、本質的な問題解決をせよ。
8. 経営者はリスクを読みきり、果敢に挑戦をせよ。
9. 経営者はビジョンを示し、将来をつかみ取れ。
10. 経営者は素直な気持ちで、即実行せよ。